

市民ワークショップの開催記録

市民ワークショップの対象	アリーナ誘致の推進について
対象とする施策の内容	市民が検討しやすいように東静岡駅北口地区をモデルとして、アリーナ建設（整備）に関わる条件整理をするための意見交換会をワークショップ形式で行うことを目的とし、その成果を参加者等と共有するとともに、広く市民との情報共有も図っていく。
開催日時・開催場所	<p>【開催日時】 第1回 令和3年12月20日（月） 18時30分から20時30分まで 第2回 令和4年1月11日（火） 18時30分から20時30分まで 第3回 令和4年1月21日（金） （コロナ禍により集合形式は中止し、アンケートにより実施）</p> <p>【開催場所】 グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター） 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号</p>
参加者数	第1回 23人 第2回 25人
議 題	第1回 テーマ「10年後の東静岡を考える」 第2回 テーマ「もし東静岡にアリーナがあったら」
市民ワークショップの概要（条例第9条第2項の規定に基づく公表事項等）	別紙のとおり
担 当 課	企画局アセットマネジメント推進課 電 話 054-221-1167 ファクシミリ 054-221-1295 電子メールアドレス asset-suishin@city.shizuoka.lg.jp

令和3年度

アリーナのある未来を考える
市民ワークショップ・アンケート

結果報告書

令和4年3月

静岡市企画局 アセットマネジメント推進課

1 ワークショップ目的

静岡市では、都市の求心力を高め、賑わいの創出や交流人口の増加等を目指し、今まで静岡市では観る機会の少なかった、最高峰のスポーツ観戦や著名アーティストによる大規模コンサート等が開催できる、「観る」機能を重視したアリーナの誘致を推進しており、JR 東静岡駅北口市有地をアリーナ誘致の有力な候補地として、調査・検討を進めています。

「観る」コンテンツの充実、「観る」機能を追求した整備を実現するために、民間事業者主導による整備・運営の可能性を検討する一方で、アリーナと地域の共生を図るため、幅広い世代の市民から、東静岡の将来像やアリーナについて、様々なアイデアを出していただき、今後のアリーナ誘致の検討に活用していきます。

2 ワークショップ概要

- ・開催日時、テーマ（全3回）

- 第1回 令和3年12月20日(月)「10年後の東静岡を考える」

- 第2回 令和4年1月11日(火)「もし、東静岡にアリーナがあったら」

- 第3回 新型コロナウイルス感染症の影響から集合形式での開催を中止し、
総括アンケートを実施

- 午後6時30分から午後8時30分（第1回、第2回）

- ・開催場所 グランシップ 10階 1001-2会議室

- ・参加者 静岡市に在住又は、通勤、通学の高校生以上

- 第1回23人、第2回25人、第3回27人の延べ75人

- ・ファシリテーター 都市環境デザイン研究所 代表取締役 木村 精治 氏

3 アンケート結果

全体総括として実施した第3回目のアンケート結果を主とし、第1回、第2回目の参加者アンケートの内容を一部掲載する。

3-1 アンケート回答者プロフィール

回答数 27 (性別 女性4、男性22、非回答1)

年代	回答数
10代	4
20代	5
30代	3
40代	4
50代	5
60代	3
70代	3
総計	27

居住	回答数
葵区	11
駿河区	8
清水区	2
その他	6
総計	27

仕事	回答数
市内に通勤	15
市内に通学 (大学生・高校生)	6
その他	5
無回答	1
総計	27



アリーナのある未来を考える 市民ワークショップ 報告書

日程：令和3年12月20日(月)
時間：18：30～20：30
場所：グランシップ10階
1001-2 会議室

★テーマ：第1回「10年後の東静岡を考える」

第2回：もし東静岡にアリーナがあったら、第3回：(仮)今後について
※今年度は、合計3回のワークショップで意見を深めていきます。

★目的：10年後(将来)の東静岡のまちの姿を描くため、「どのようなまち」になり、「どのようなこと」が行われると良いか等々、皆で一緒に考えていきます。

★進め方：東静岡駅周辺の「駿河まなびのまちづくりグランドデザイン」、ステップ①「JR東静岡駅南口の活用」、「県立図書館」の計画概要を紹介。

静岡市の関連計画	静岡県の関連事業①	静岡県の関連事業②
<p>◆駿河まなびのまちづくりグランドデザイン概要</p> <p>○理念：「まなびに親しみ、文化を創り、心豊かに暮らす」</p> <p>○目指す姿：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域全体の「まなび」をけん引するまち ・魅力ある文化的な都市機能の充実したまち ・多様性がある快適な暮らしを实践できるまち <p>【東静岡地区の拠点まちづくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.文化・スポーツの殿堂 2.新県立図書館の整備 3.文化・芸術の振興 4.地域活動との連携 5.南北交通の強化 	<p>◆JR東静岡駅南口の活用概要</p> <p>○目指す姿： 「文化とスポーツの殿堂」</p> <p>○将来イメージ プロスポーツの観戦やエンターテインメント性の高い芸術・文化に親しみ暮らすなどを実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の知のインフラ+未来につながる新しいタイプの図書館 ○施設面積18,000㎡程度 ○令和8年完成予定 ○乗客数約100万人程度と想定 ○文化の創造拠点 ○延床面積約2,500㎡ ○平成11年開館 ○来館者年約80万人(令和元年度) 	<p>◆新県立中央図書館整備計画概要</p> <p>○4つの目指すべき姿：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「県民の生涯学習・読書活動の拠点としての図書館」 2.「“ふじのくに”のことなら何でもわかる図書館」 3.「県内市町立図書館等を強力に支援する図書館」 4.「県民が出会い交わり、新しい文化を育む図書館」 <p>○概要： JR東静岡駅南側の県有地に、床面積約2万㎡、収蔵冊数を最大200万冊の未来につながる新しいタイプの図書館整備を進めています。</p>

ステップ②：グループワークは、5つのグループに分かれ、メンバーが一定時間ごとにローテーションして意見を交わす、『ワールドカフェ方式』で行いました。

★参加者からの主な意見：※詳細は裏面をご覧ください。

○交流や賑わい創出に向けた意見



回遊性のある南北一体感のあるまち

【職】や【食】のあるまち

東静岡ならではの魅力・個性のあるまち



○住む人にとっても魅力的なまちを望む意見



幅広い世代がいつまでも住み続けられるまち

安全で安心なまち

魅力あるものが発展には必要、生活環境も大切



裏面に続く

★参加者からの意見: ※項目ごとに整理して紹介します

将来のまちの姿(グループの意見)

- 地元・周辺の方々が魅力を感じる施設があり、幅広い世代の方が暮らすまち
- オレンジでにぎわう 美味しい街！！
- 住みたいまち
- 南北一体を進めて、様々な所から家族で集える東静岡
- 南：静岡市、北：静岡県、土地の入れ替えで人が集まり楽しめる場所に 大学もありかも

将来のまちの姿(個人の意見)

【東静岡ならではの魅力・個性のある街】

- ・静岡市としての色の象徴(アピール)ができれば・
- ・人が集まる楽しめる場所



【居住と集客が共存するまち】

- ・魅力あるものが発展には必要、生活環境も大切

【多彩な食のある美味しいまち】

- ・美味しい街
- ・駅近くにコンビニ・飲食店がほしい
- ・東静岡アリーナと静岡駅周辺飲食店をつなぐ(既存飲食店の活用)

東静岡の将来を
真剣に考えた
多様な意見を
いただきました!!

【賑わいのある集客のまち】

- ・色んな店が展開し、人でにぎわうまち
- ・地元+周辺から集客箱(施設)+インフラ
- ・大学ありかも

【安全で安心なまち】

- ・安心・安全と盛り上がりの両立
- ・安心で安全なまちになってほしい



【幅広い世代がいつまでも
住み続けられるまち】

- ・子や孫の世代でも住みたい街に!

【回遊性のある一体感のあるまち】

- ・回遊性があり、「にぎわい」と「生活」が両立できる地域
 - ・地元の方も外部の方も回遊し、納得できる地域 南北一体となった地域
 - ・南北一体化を進めて、様々な所から家族で集える東静岡
 - ・駅直結で楽しめるエリア
 - ・東静岡駅に西口を作る発想がなかったので、非常に素晴らしいと思った。
 - ・北口アリーナ、南口図書館を逆に!
- (アリーナとグランシップとの連動性、県と市との共同事業化、各種問題点の解決)

★発表会の様子:



★スケジュール:

済

第1回:R3年12月20日
テーマ:10年後の東静岡を考える

第2回:R4年1月11日
テーマ:もし東静岡に
アリーナがあったら

第3回:R4年1月21日
テーマ:(仮)今後について

問い合わせ先:
静岡市役所アセットマネジメント推進課
電話:054-221-1167

第2回
かわら版

アリーナのある未来を考える
市民ワークショップ
報告書

日程：令和4年1月11日(火)
時間：18：30～20：30
場所：グランシップ 10階
1001-2 会議室

★テーマ：第2回「もし東静岡にアリーナがあったら」

※今年度は、合計3回のワークショップで意見を深めていきます。



★目的：10年後(将来)の東静岡のまちの姿を描くため、「どのようなまち」になり、「どのようなこと」が行われると良いか等々、皆で一緒に考えていきます。



★進め方


ステップ①：第1回の意見内容をふりかえり。 第1回かわら版をご参照ください。

ステップ②：先進アリーナの事例を紹介。

	施設名	特徴
	沖縄アリーナ	①臨場感が感じられ、来場者、興行者が「使いやすい」県内にはない1万人規模の「観せる」施設 ②災害時、貴賓室に妊産婦、高齢者、障がい者、乳幼児などを受け入れられる等防災に力を入れた施設
	ゼビオアリーナ 仙台	①多目的スポーツ&エンターテインメントアリーナ ②併設施設と組み合わせ周辺に賑わいを創出
	フラット八戸	①市内の学校と連携し、多様な学校行事の場として活用 ②施設前のスペースを開放し、マルシェ等のイベントを実施し地域の活性化につなげている

ステップ③：第1回の意見整理から5つのテーマを設定し、グループごと1つのテーマを担当し意見交換を行った後、全体で情報共有。



<p>テーマ①</p> <p>アリーナでのイベント、日常利用</p>	<p>テーマ②</p> <p>アリーナ周辺の賑わいづくり</p>	<p>テーマ③</p> <p>アリーナと周辺地域との連携</p>
<p>テーマ④</p> <p>アリーナと周辺施設との回遊性</p>	<p>テーマ⑤</p> <p>アリーナがあることによる効果</p>	



令和4年1月21日に予定していた第3回のワークショップは、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大を受け、グループワークは困難と判断し中止といたしました。
代替えとして、総括アンケートを実施させていただきます。



各テーマの意見概要

東静岡にアリーナがある場合を想定して、利用方法や周辺との関係性等を検討していただきました!!

●アリーナでのイベント・日常利用

- プロスポーツ観戦
 - ・バスケ、フットサル、卓球、eスポーツ等
- 音楽イベント
 - ・ライブ、コンサート
- 多様なイベントを観たい
 - ・スケボー、ボルダリング
 - ・将棋、相撲・芸術、展示
 - ・地域スポーツの試合、決勝戦
 - ・プラモ（産業）イベント等
- 平日は地域・市民利用に
 - ・高校・大学、地域スポーツ組織利用
 - ・自治会等の地域活動、レク利用
 - ・地域への開放日を設ける
 - ・市民参加イベント利用、市民利用等
- 周辺施設と連携した賑わい



●アリーナがあることによる効果

- 静岡・東静岡のイメージアップと情報発信の機会創出
- 競技の質が向上
- 県内外から人が集まり、笑顔がふれ賑わい創出
- 多彩なイベント等による集客
 - 企業誘致
- 地域経済の活性化や雇用創出
 - 地域の発展
- 地域との協働の取組
 - 鉄道を活かした利便
- 地域のアリーナ活用による効果
 - 地域の防災力向上

多くのイベントで賑わう

宿泊施設や話題性のある商業がある

緑豊かでまちの景観と調和したデザイン

子どもや高齢者が集まる公園などがある

学校・学生との連携

●アリーナ周辺での賑わいづくり

●アリーナと周辺地域との連携

- 地域の防災拠点として連携
 - ・防災機能の充実
 - ・地域の避難場所として安心な整備
- 地域イベントや行事との連携
- 地域コミュニティとの連携
- 地域の日常生活のサービス機能導入
 - ・子どもの遊び場・集会、会議施設
 - ・行政サービス窓口等
- 公園・景観による連続した快適性
- 近隣への配慮
 - ・騒音、渋滞、安全
 - ・交番設置



●アリーナと周辺施設との回遊性

- 地域ブランド化のシンボル
- 周辺情報の提供による回遊性向上
- 駅前の利便性を活かし公共交通と連携した回遊性
- 南口・北口のアクセス充実
- 静岡駅・東静岡南北の店舗との連携

★検討の様子



★スケジュール

済

第1回:R3年12月20日
テーマ:10年後の東静岡を考える

済

第2回:R4年1月11日
テーマ:もし東静岡にアリーナがあったら

第3回:R4年1月21日

中止
※代替アンケート実施



問い合わせ先：静岡市役所アセットマネジメント推進課 電話：054-221-1167

ワークショップを終えて (アセットマネジメント推進課)

アリーナのある未来を考える市民ワークショップにご参加いただきありがとうございました。

第1回では、「10年後の東静岡を考える」をテーマにワールドカフェ方式で様々な意見をいただきました。

「南北一体を進めて、様々な所から家族で集える東静岡」や「地元・周辺の方々が魅力を感じる施設があり、幅広い世代の方が暮らすまち」という東静岡の個性を活かしていく意見などをいただきました。

第2回では、「もし東静岡にアリーナがあったら」をテーマに第1回の「10年後の東静岡」の姿を踏まえ、アリーナ導入を仮設し、それぞれのテーマに沿って意見交換を行っていただきました。アリーナでの「プロスポーツの観戦」や「音楽イベント」の想定や、アリーナがあることによる周辺への影響や効果について「地域防災拠点としての連携」、「まちの景観との調和」や「回遊性の向上」といった様々な意見をいただきました。

今回いただいたご意見を、今後、アリーナ誘致の考え方をまとめる上で参考にさせていただきます。

3-2 「10年後の東静岡のまちの姿」についての意見

意見を8つにグルーピングした（未回答2人）

1 静岡の拠点となるまち

- ・静岡駅周辺に次ぐ第二都市として栄えるように充実している（10代男性）
- ・静岡市の副都心的な街（60代男性）

2 満足感が得られるにぎやかで活気のあるまち

- ・行ったらたいいの物はそろそろ、にぎやかな場所（10代男性）
- ・もう少しにぎわいのある町（60代男性）
- ・賑わいの街（20代男性）
- ・人でにぎわう（50代男性×2）
- ・賑いと発展の象徴の街（30代男性）

3 若者が集まり活動的なまち

- ・若者が集まるアクティブな街（50代男性）
- ・若者の集まる街（サードプレイス）（60代男性）

4 賑わいと生活が共存できるまち

- ・住む人も立ち寄る人も満足することができる活気のある街（10代男性）
- ・にぎわいと生活が両立できる街（40代男性）
- ・自然と活気が融合した場所（20代女性）
- ・商業地区、文化地区（一部）（50代男性）
- ・衣食住のバランスが保たれ大規模施設が共存できる街（50代男性）

5 市民に愛され何度も訪れたいまち

- ・地域住民に愛されるとともに、若者の集まる拠点（20代男性）
- ・広く市民に愛され、頻繁に行きたくなるエリア（30代男性）

6 多世代共存のまち

- ・老若男女が共存している街（10代女性）

7 自然や立地環境を活かした安全安心のまち

- ・JR、静鉄、国一という交通の便に恵まれ、また自然に恵まれ歴史ある寺社も近くにあるという恵まれた環境を生かし、老若男女問はず一緒に安心して集える場所（70代男性）
- ・安心で安全な地域であってほしい（70代非回答）

8 特徴のある魅力あふれるまち

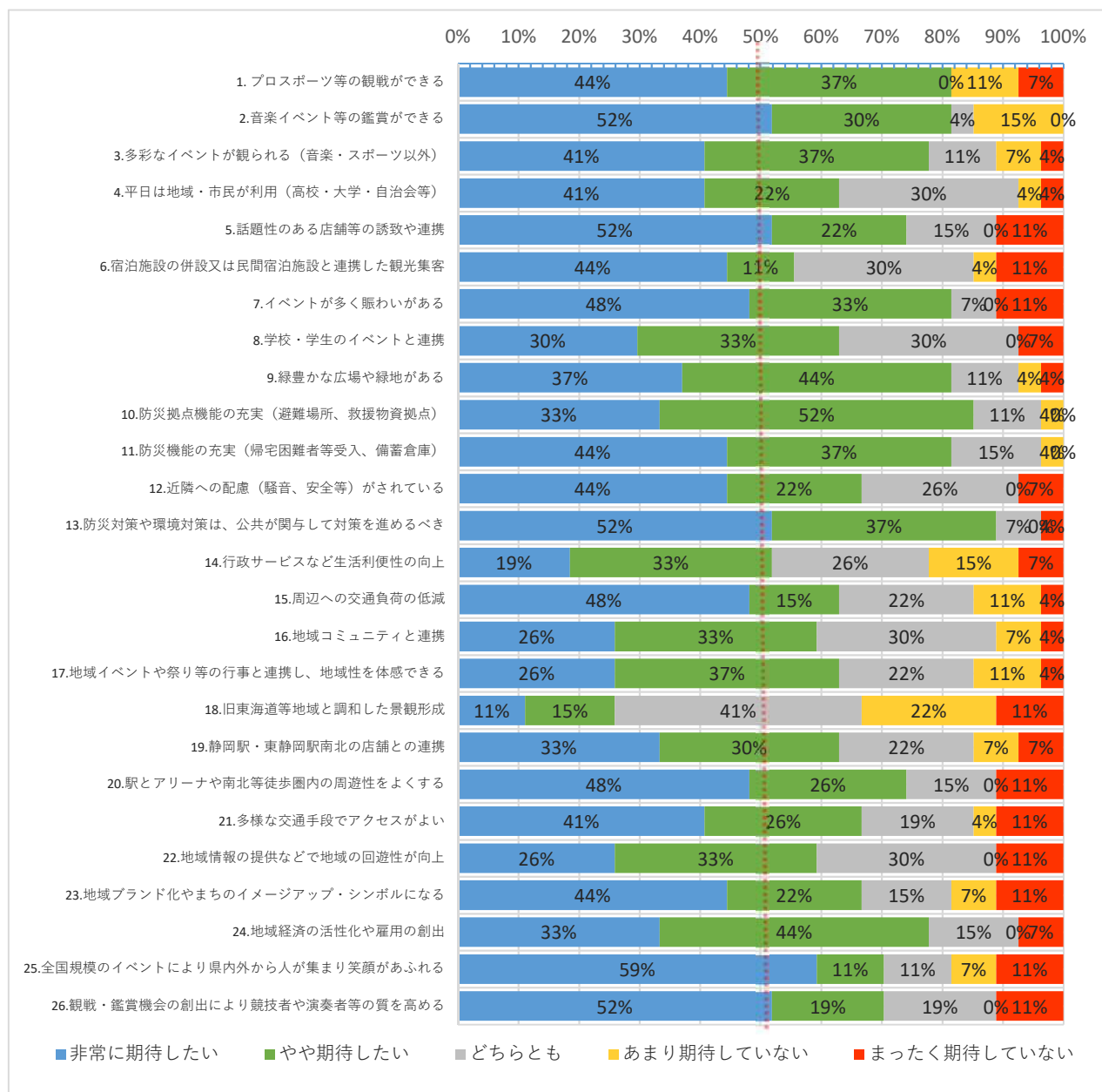
- ・スポーツ栄んな町（20代女性）
- ・日本を代表するエンタメパーク（30代男性）
- ・魅力あふれるまち（40代男性）
- ・教育活動に協力的なまち（40代女性）
- ・利用価値のある町（70代男性）

3-3 10年後の東静岡に、もしアリーナがあったら期待すること

第2回目に出された意見をもとに、次の26項目を設定し、期待度を、「非常に期待したい」「やや期待したい」「どちらともいえない」「あまり期待していない」「まったく期待していない」の5段階で評価を伺った。

1. プロスポーツ等の観戦ができる
2. 音楽イベント等の鑑賞ができる
3. 多彩なイベントが観られる（音楽・スポーツ以外）
4. 平日は地域・市民が利用（高校・大学・自治会等）
5. 話題性のある店舗等の誘致や連携
6. 宿泊施設の併設又は民間宿泊施設と連携した観光集客
7. イベントが多く賑わいがある
8. 学校・学生のイベントと連携
9. 緑豊かな広場や緑地がある
10. 防災拠点機能の充実（避難場所、救援物資拠点）
11. 防災機能の充実（帰宅困難者等受入、備蓄倉庫）
12. 近隣への配慮（騒音、安全等）がされている
13. 防災対策や環境対策は、公共が関与して対策を進めるべき
14. 行政サービスなど生活利便性の向上
15. 周辺への交通負荷の低減
16. 地域コミュニティと連携
17. 地域イベントや祭り等の行事と連携し、地域性を体感できる
18. 旧東海道等地域と調和した景観形成
19. 静岡駅・東静岡駅南北の店舗との連携
20. 駅とアリーナや南北等徒歩圏内の周遊性をよくする
21. 多様な交通手段でアクセスがよい
22. 地域情報の提供などで地域の回遊性が向上
23. 地域ブランド化やまちのイメージアップ・シンボルになる
24. 地域経済の活性化や雇用の創出
25. 全国規模のイベントにより県内外から人が集まり笑顔があふれる
26. 観戦・鑑賞機会の創出により競技者や演奏者等の質を高める

3-3-1 回答結果（割合）



「非常に期待したい」「やや期待したい」の期待は、「18. 旧東海道等地域と調和した景観形成」が26%と関心が低かったが、他全ての項目が50%を超えた。

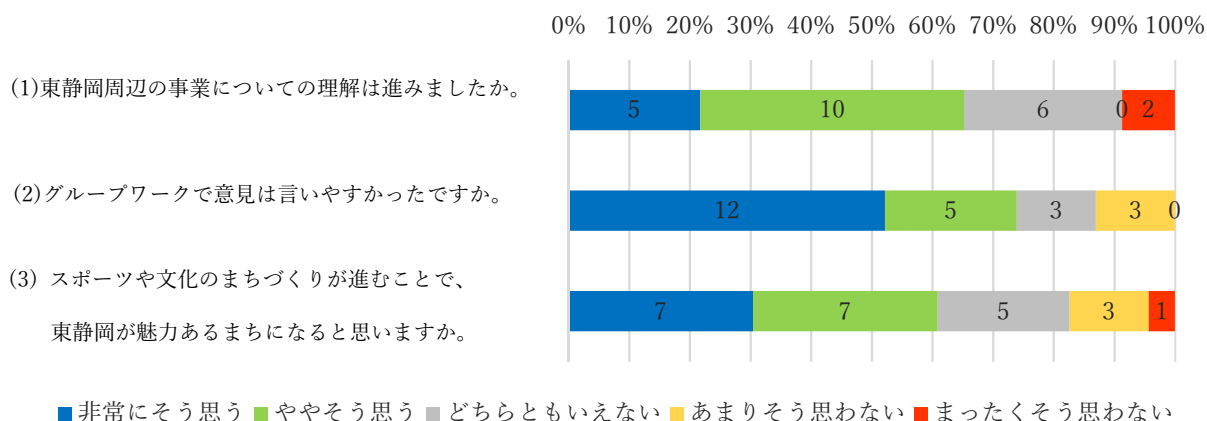
最も高かったのは、「13. 防災対策や環境対策は、公共が関与して対策を進めるべき」で、次いで、項目11、10など防災関係は期待が高い傾向である。

施設利用については、音楽イベント等への期待が多く、次いでプロスポーツ等は80%以上の期待がある。その他のイベント含め、イベントが多く開催され賑わうことを期待する傾向が高い。

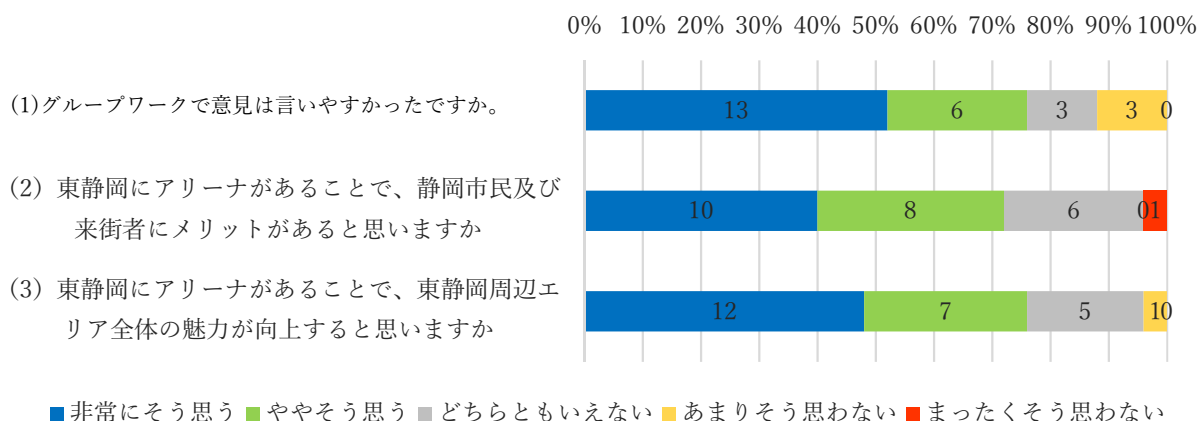
一方、「まったく期待していない」「あまり期待していない」の期待しないについては、「18. 旧東海道等地域と調和した景観形成」33%と、「14. 行政サービスなど生活利便性の向上」22%が特に期待が低い。

3-4 ワークショップ各回アンケート個別設問の回答結果（割合）

第1回ワークショップアンケート



第2回ワークショップアンケート



第3回ワークショップアンケート

